

東京ちどり病院 OT

出身校：アール医療福祉専門学校、湘南医療大学、東京都立大学、帝京平成大学、社会医学技術学院、四条畷学園大学、藤華医療技術専門学校、北海道医療大学、福岡国際医療福祉大学、福山医療専門学校、宮崎保健福祉専門学校



〒146-0083
東京都大田区千鳥2-39-10
TEL:03-3758-2671



大阪（大阪市、岸和田市）
京都のグループ病院との
合同勉強会もあるよ！

最先端機器を用いた上肢機能訓練



脳波
電気刺激

BMIを用いた機能訓練

最先端の上肢機能訓練ロボットであるBMI（Brain Machine Interface）を導入しています。BMIは、計測した脳波をもとに、麻痺手に電気刺激を与え、麻痺手の随意性向上を目的とする機器です。日々、医師と協力しながらエビデンスの構築に励んでいます。BMIの他、Reo-Go-JやIVESなどの機器を用いた訓練、対象者に合わせた装具療法にも力を入れています。



10年以上開かなかった指
示指が開いて物が持てた！

BMIとリハビリによる効果の一例



Reo-Go-Jを用いた機能訓練



屈曲・伸展両用
伸展保持 拘縮予防

OT学会発表

用途に合わせたオリジナル装具

3Dプリンタ



3Dプリンタの活用

主に既存データから自助具や訓練道具の作製を行っています。2025年にはオリジナルデータを作成しOT学会にて発表しました！養成校ではすでに導入され、学生の皆さんの方が詳しいかもしれません。学校での学びを臨床に結び付けましょう！



ミニ機織り機



籐細工の底

OT学会発表

Activity



お芋の栽培



園芸活動



音楽療法士との共同訓練



籐細工の活用

回復期を中心とした病院ですが、積極的にActivityを治療に取り入れています。屋上では、野菜を植えるなど園芸活動を行っています。過去には病棟と協力して園芸活動を企画したことも♪患者様自ら水やりや草抜きに参加してくれます！園芸の他、ネット手芸や籐細工、水彩画、音楽療法士との音楽活動もを行っています。

学術活動

一般的に回復期では、身体機能やADLに関する報告が多いですが、当院では対象者の心理や内観に焦点を当てたOTらしい報告が目立ちます。大学院での研究や大学・研修会での講師活動も行っていきます！



WFOT学会 パリ 2022年



学術誌・国際学会

2026	メンタルヘルス 岡本記念財団 研究助成報告集	・回復期リハビリテーション病棟に入院する脳卒中患者のSelf-awarenessの継時的変化
2025	作業療法 44(6)：597-606	・脳卒中患者のSelf-awarenessの障害に対する作業療法に関するスコーピングレビュー
	Transnational Meeting on TEA	・The process of change in Self-awareness in a stroke patient
	認知療法研究 17(1)：113-122	・脳卒中患者の抑うつ状態と自己効力感およびADL自己評価との関連性ならびに継時的変化
2024	東京作業療法 12：29-36	・脳血管疾患患者におけるストレス対処能力に着眼した介入の臨床的有用性について
	Asia Pacific OT Congress	<ul style="list-style-type: none"> ・ Awareness and reality of decreased sense of smell in the elderly ・ Exploring the relationship between SOC and changes in psychological characteristics following participation in outpatient rehabilitation program ・ Counselling for the patient with anxiety after hip fracture in a rehabilitation ward
2023	認知療法研究 16(1)：1-10	・うつ状態を呈する身体障害クライアントに対する認知行動療法アプローチ
2022	WFOT Congress in Paris	・ Relationship between Post Stroke Depression and Self Efficacy, self-assessment, disease experience
2021	総合リハ 49(4)：367-375	・ 入門講座 認知行動療法-脳卒中後うつ
	作業療法 40(5)：553-561	・ 脳血管疾患患者の「発症を契機とした変化」の実態

OT学会などの
国内学会では、
毎年7演題程度
発表しています！